

2019 年度 自閉症セミナー



一日目研修の様子



二日目の様子

日 時 : 2019年10月5日(土)～10月6日(日)

場 所 : すみだ産業会館

参加者 : 206名(当日欠席者 7名)

コーディネーター : 佐々木 敏宏

【プログラム】

(敬称略)

1 日目:10 月 5 日(土)【基礎コース】

自閉症を取り巻く現状の理解と課題

日詰 正文((独)国立重度知的障害者総合施設のぞみの園)

応用行動分析(ABA)とその応用

長瀬 慎一 (NPO法人 さるく)

TEACCHに学ぶ自閉症への教育・福祉

渡邊 倫(たすく株式会社)

TAO(太田ステージを基軸においた TEACCH と ABA の応用

佐々木 敏宏(自閉症セミナー コーディネーター)

※TAO は太田ステージを基盤においた TEACCH と ABA の応用の略称です。

2 日目:10 月 6 日(日)【アドバンスコース】

セッション I

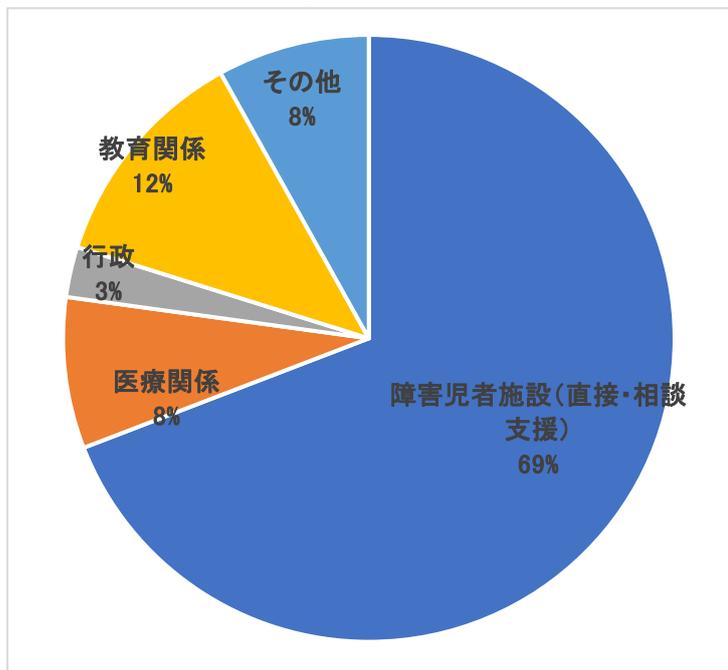
セッション II

全体会

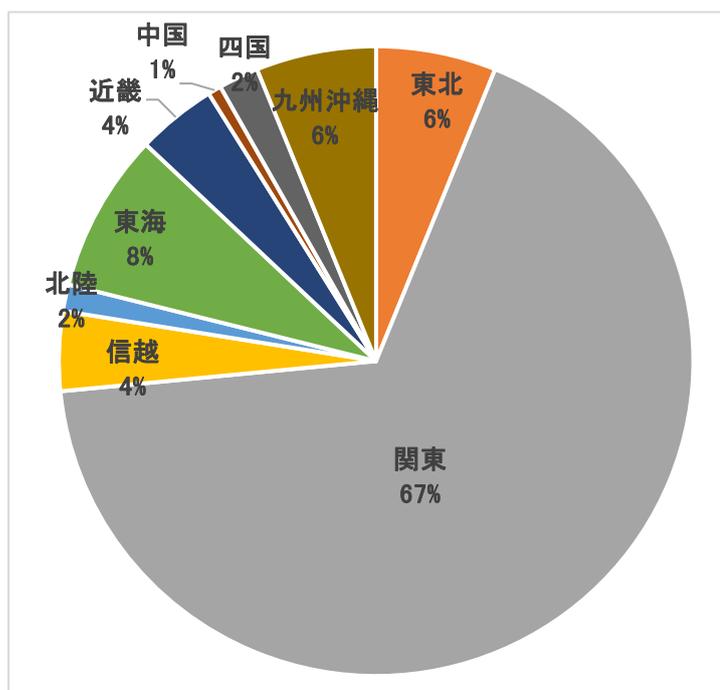
講師とともに (各 20 名/4 クラス)、事例を行動障害に絞り、各講師の方法論のもと、インシデントプロセス法を用いながら様々なアプローチによる検討を行います。1セッションごとに講師が入れ替わります。

参加状況

現在従事されているご職業

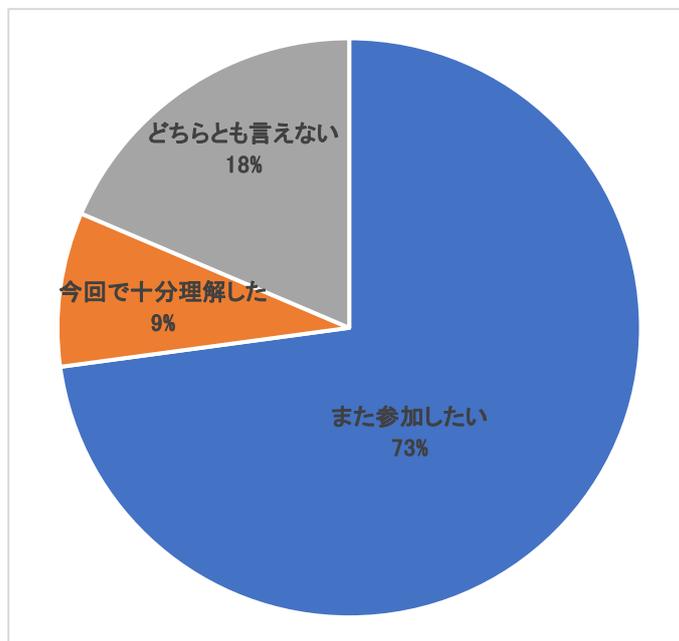


お住まいの地域

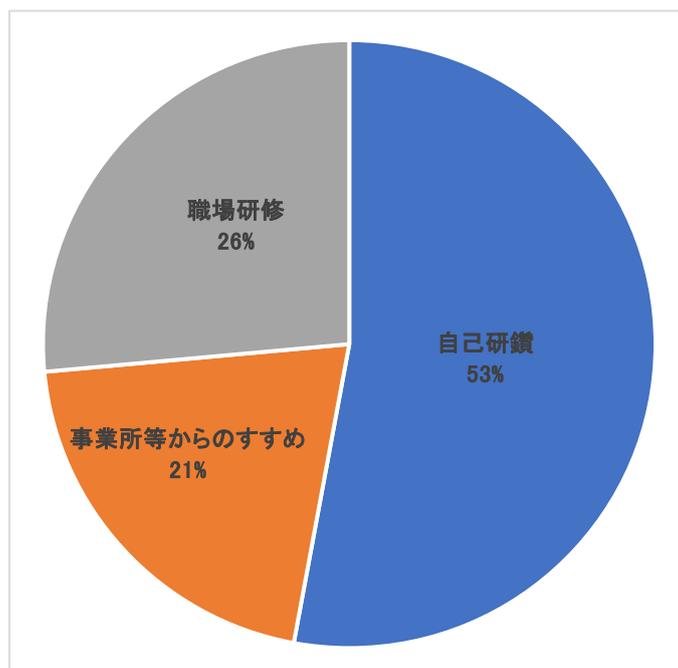


参加者アンケート

内容について



どのような目的で参加されましたか？



参加者の皆様からの声

- ・一度この知識を職場に持ち帰って知識をフィードバックしたい。また、職場で実践してまた改めて参加すれば、また違う知識が得られると感じた。
- ・具体的な事例や実際の映像を見ることで、とてもわかりやすかった。幼児期からの療育や行動レポーターを増やすことが大事だとわかった。
- ・どの研修、どの勉強でも同じだと思いますが、定期的に勉強し直す、思い出すことが大事であると考えます。できれば毎年または数年に一度、学習したと思っています。
- ・今回のセミナーで学んだことを活かしつつその結果はどうなるかはまだまだなんともいえない部分ではあるので、どちらともいえません。ただ、学びの機会としては興味深いので機会があればまた参加したいと思う。
- ・自閉症について学んできたが、新たな気づきや、視点が得られました。
- ・1 日目は色々な知識や話を聞くことができ、二日目も色々な方々と話をしたり意見が聞けるとのことでとても楽しみにしています。内容が充実していてとても良かったです。
- ・1 度だけでは、100%の理解はできないと思うのでまた参加したい。また、この研修をふまえ実践し新たな悩みや疑問が出てきた所で、もう一度受けたい。
- ・事例を聞き、職場の利用者(放デイ)と重なる部分が多々あった。支援の方法は、何通りもあり、正解は一つではないため、また参加して様々なお勉強をさせて頂きたいと思った。
- ・チームで取り組むことが重要。今日は 1 人での参加。次はもっと仲間をひきつけて共有して実践していきたい。

最後に

今回のセミナーにご参加、ご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

今年度は 1 日目の始まりに自閉症を取り巻く現状から入り、自閉症への理解を共有させて頂き、その支援方法として様々な手法を講師の先生方から講演いただきました。現場で生かせる支援方法が目で見てわかるよう先生方はビデオや写真を多く織り交ぜて講演してくださいました。また、2 日目は 1 日目の学んだものをベースに実際に提出された事例でグループワークを行いました。他の地域、他の施設、支援対象が違う方がグループに入ることで様々な意見が出たことと思います。帰りの皆様のお顔が何か明日からやってやるぞというものを感じるものがありました。ありがとうございました。